災害への備えを再確認する新サービス開始

三井住友海上火災保険と熊本MSA

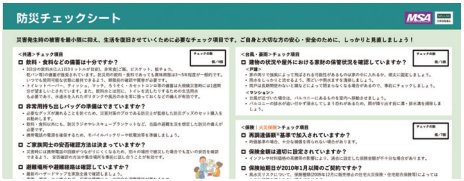
三井住友海上火災保険㈱（熊本支店＝熊本市中央区新屋敷1丁目、中村和正支店長）と県内における同社の代理店11社で組織する熊本MSA（会長＝西田和弘西田総合保険㈲社長）は7月、災害への備えについて再確認する「防災チェックサービス」の提供を開始した。

これは、同社が独自に作成したチェックシートをもとに、飲食料品・防災グッズなどの準備、家具などの固定、保険加入状況など防災チェックを行い、防災対策のポイントをアドバイスするサービス。9月末までを同サービスの取組強化期間とし、期間中に防災チェックを実施した顧客には、熊本支店オリジナルの防災グッズを提供する。

西田熊本MSA会長は「災害時の避難所について、家族などで共有できているか、再度確認してほしい。熊本は自然災害が多く、加入されている火災保険が水災などにも対応しているか、改めてチェックする機会となれば」。中村支店長は「自然災害への備えなどについて、ご家族で話し合うきっかけにしていただくことで、県民の皆さまの防災意識向上につながってほしい」と話している。

▶左から中村和正三井住友海上火災保険熊本支店長、西田和弘熊本MSA会長、尾崎秀幸三井住友海上火災保険熊本第一支社長

▶防災チェックを実施した顧客に提供するオリジナル防災グッズ



防災チェックシート　MSA

災害発生時の被害を最小限に抑え、生活を復旧させていくために必要なチェック項目です。ご自身と大切な方の安心・安全のために、しっかりと見直しましょう！

＜共通＞チェック項目

自然・自然などの備蓄は十分ですか？　チェック不要　済／済

- 3日分の飲料水（2L2日ペットボトル）、非常食（缶詰、ビスケット、麺タイプ）、電池（ラジオ用の乾電池は長持ち、安定用の乾電池）、懐中電灯（自然災害は一般的です。いつでも即時に使える状態に維持できるよう、乾電池の確認や保管が必要です。
- トイレットペーパー、ティッシュ、マスク、ゴミ袋（ゴミ収集の復旧は大規模災害時には1週間程度かかることもあります。）、歯ブラシ（歯ブラシ）、ドライシャンプー（入浴ができない状況でも、清潔を保つ為に必要）、ドライシャンプーは、ウェットシートタイプ（使用後はゴミ袋に入れて捨てる）の方が使用しやすいです。
- 非常用持ち出しバッグの準備はできていますか？
  - 必要なアイテムが揃えることを目的とした、汎用性の高い防災用品を選択し、自宅のクローゼット収納スペースに保管。
  - 食物・水・医薬品など、防災リュックやスーパーポリ袋などに入れ、自宅の玄関等目立ちやすい場所に保管。
  - 使用期限が明確な物を中心に、年に1回メンバーが一斉点検実施を実施しました。
- ご家族同士の安否確認方法は決まっていますか？
  - 災害時には携帯電話の回線がつながりにくくなるため、固定の電話で使えるもの（公衆の電話）を確認できるよう、公衆電話の使用方法を確認しておくことが有効です。
- 避難場所や避難経路は確認していますか？
  - 最寄りのハーザードマップで自然災害を確認しましょう。

＜住宅・家屋＞チェック項目

建物の状況や室内における家具の保管状況を確認していますか？　チェック不要　済／済

- 戸建
  - 家の周りに不要物はないか？（特に強風時に飛散しやすいものはないか？）
  - 屋根をしっかりと固定されたか、雨どいや排水溝を清掃しましょう。
  - 雨戸は及び網戸のレールに異物はないか？雨戸がしっかりと閉まるか確認の方、雨戸にチェックをしましょう。
- マンション
  - 共用部分の通路は、バルコニーにあるものを室内へ移動させましょう。
  - バルコニーの手摺りの周りの不要物は、しっかりと固定されているか。飛び降りなど防止策・防犯対策を講じましょう。

チェック不要　済／済

再調達価額*基準で加入されていますか？
- 再調達原価額：火災保険額を保険の対象に対応されていますか。

保険金額は適切に設定されていますか？
- インフレや不時災害による物価上昇を考慮しました。適切に設定した保険金額が不十分な場合があります。

保険始期日が2019年3月以降のご契約ですか？
- 風水害リスクについて、現地情報が2019年3月に改定されたため、火災保険・住宅瑕疵保険等によっては

▶地域貢献活動として白川流域を一斉清掃する「しらかわの日」に参加した同社社員および熊本MSAの会員ら

▼独自で防災チェックシート作成した